

地元漁業者、 札幌物産イベントに出陣

2月26日、町内で漁獲された水産物や水産加工品をPRするイベントが札幌市で開催され、町内の漁業者15人、漁協女性部2人が参加しました。

このイベントは、町内で水揚げされた魚介類や水産加工品を使った料理が居酒屋で提供され、特にエビやアワビ、ホッケの刺身などは大好評でした。

参加した漁業者は、自らが携わった商品を目の前で食べてもらい、「美味しいー」と言ってもらえたことは大変な励みになったそうです。

昨今、食の安全に全国的な関心が高まる中、こうした生産者と消費者が交わる活動に大きな関心が寄せられていることから、今後の取組が期待されます。



春に向けて、 農家の勉強会

農家の勉強会

2月26日、本町の若手農業者による勉強会、3月16日には冬期営農講座がジョイ・じよぐらにてそれぞれ開催されました。

これらは、農作業の工程見直しによる効率化の検討や、連作障害の回避など、冬の農閑期を有効活用し、改革改善による更なる高収益を目指すことを目的に開催されているものです。

特に、本町の若手農業者は、こうした勉強会を積極的にを行い、また、産業まつりなどイベントに農産物を自ら出品してPR販売活動を行うなど、本町の農業の未来を考えているうえで、重要な役割を担っており、今後の活躍が期待されています。



地域に貢献する歌！ 南部カワケチャリティーショー

3月15日、上ノ国町南部美声会（布施美治会長）主催による「第16回南部美声会歌謡・民謡・舞踊チャリティーショー」がジョイ・じよぐらにて開催され、約200人の来場者が歌や踊りを楽しみました。

このチャリティーショーは、地域の社会福祉充実などのため、来場者の方々から寄付を募っており、この日も多くの方々の協力によって集められた寄付金が上ノ国町社会福祉協議会へと手渡されました。

上ノ国町社会福祉協議会では今後、町内の社会福祉の推進によって、地域に還元していきたいとのことでした。



新吉堀トンネル貫通！ 新たな路線に高まる期待

3月23日、湯ノ岱地区にて掘削が進んでいた新吉堀トンネルが貫通し、貫通記念式典が開催されました。

会場では、挨拶の中で、これまで雨や雪による通行止めが頻発していた状況に触れ、これらが解消されるとともに、昨年のJR江差線廃線や来年に控える北海道新幹線開業などにより、本町と木古内を結ぶ本路線の重要性はますます高まっているとの言葉がありました。

今後は壁面を固める工事などが行われ、開通に向けて最後の仕上げが進められていくこととなります。

